



GROWTH
TOKYO

2022年10月7日

各 位

会 社 名 ルーデン・ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 西岡 孝
(東証グロース・コード1400)
問 合 せ 先 取締役管理部門管掌兼管理本部長
佐々木 悟
電 話 03-6427-8088

外部調査委員会の報告書提出遅延のお知らせ

当社は、当社非連結子会社のルーデンコイン（以下「RDC」）及び Bitcoin（以下「BTC」）の状況に関して、2022年5月2日付「外部調査委員会の設置に関するお知らせ」におきまして、外部調査委員会の設置をお知らせし、足許まで外部調査委員会による調査が進められております。しかし、報告書提出が予定していた時期から遅延することとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、外部調査委員会設置の経緯・調査の目的等については、2022年5月2日付同開示資料をご参照ください。

記

1. 遅延の理由

本調査をしている最中の2022年7月に当社総務担当社員が退職したことにより、各種資料の外部調査委員会への提出が遅れたこと、また、フォレンジック調査において、外部調査委員会が想定するフォレンジック調査に係る予算と当社の想定金額に乖離があったため、当社側でフォレンジック業者を探索し外部調査委員会の同意のもと業者選定に至っていますが、この過程で当社が複数の調査会社に打診をしたところメールアプリケーション及びグループウェアの関係で技術的な問題による辞退等があり、想定よりも調査期間がかかることが判明したこと、これらにより調査の進展が遅延しており、予定していた時期（本年10月9日）までに報告書提出が間に合わないこととなりました。

2. 今後の対応

本調査について、現在までにウォレット（システム）の履歴確認及び各種資料の外部調査委員会への提出は終了しておりますが、シンガポール子会社への現地確認につきましては、既に閉所されており現地往査を行う必要は現時点ではないものと考えています。また、フォレンジック調査においてはメールサーバーのデータ抜取及びフォレンジック作業は終了し、PC及びバックアップ用サーバーのデータ抜取作業は終了しておりますが、フォレンジック作業は未了となっております。今後は残部のフォレンジック調査を進めるとともに、抽出されたメール及びファイルの確認及び検討を行い、再度、当社役員とのヒアリングを予定しております。ただ、当該メール及びファイル量が相当になると考えられること、フォレンジック調査の過程で新たな検討課題の発生や追加資料の要請及び追加質問の発生が予想されることから、本調査終了は11月末を予定しております。本調査終了後は外部調査委員会からの報告書を受領後速やかに開示するとともに、調査報告の結果を踏まえた当社の業績への影響も判明次第速やかに開示いたします。

以 上